

# メディカル・リゾート 伊原間 (仮称)

M E D I C A L R E S O R T H O T E L I B A R U M A

最高の癒しと日本最先端の医療で身体と心のリフレッシュ&メンテナンスを！



日本を代表する観光地で、今後ますます需要拡大する医療ツーリズムに特化した施設を目指します。

「高級リゾート宿泊施設」×「医療（人間ドック・健康診断）」×「訪日（インバウンド）」

## 日本経済新聞

### 沖縄観光客、ハワイ超え 昨年

2018/2/2 21:34

保存 共有 印刷 共有 ツイート Facebook その他

沖縄県の2017年の入域観光客数が、同年のハワイの観光客数を初めて上回ったことが分かった。県は既に17年の観光客数を939万人だったと発表済み。1月31日、ハワイの観光当局が17年の実績を公表し、観光客数は938万人だった。ただ平均滞在時間や消費額では沖縄は依然としてハワイに及んでいない。

ハワイ観光当局の発表では17年の観光客数は5%増だった。米国本土、カナダ、日本からの観光客が増えた。クルーズ船の寄港も12%伸びた。

県は19日に17年の入域観光客数を発表。16年比で9%増で過去最高を更新した。国内外の別では外国客が22%増と伸びが顕著だ。直行便やクルーズ船の寄港が増えていることが背景にある。

ハワイ観光当局はあわせて17年の平均滞在時間が8.95日だったと発表した。沖縄は16年度が3.78日で、ハワイの半分以下にとどまっている。観光客の平均消費額も17年のハワイは1787ドル（約19万6千円）で、沖縄の16年度は7万5297円だった。

沖縄はハワイを目標に観光振興に取り組んできた経緯があり、観光客数で抜いたことは一定の節目となる。今後は滞在日数や消費額を増やすため、さらなる観光地としての魅力向上や商品開発、インフラ整備などが必要になりそうだ。

## 日本政策投資銀行の想定

2020年の時点でメディカルツーリズムの潜在的な需要は、年間約43万人です。潜在需要が実現した場合のメディカルツーリズムの市場規模は約5,500億円、経済効果は約2,800億円が見込まれています。

なお、2020年において日本を訪れるメディカルツーリストの国籍・人数予測は以下の通りです。経済産業省が中国、ロシアの富裕層をターゲットとした実証実験を行っており、その2ヶ国からの人数増加が高く予測されています。

- 中国：31.2万人
- 米国：5.9万人
- ロシア：5.4万人

出典：日本政策投資銀行「進む医療の国際化～医療ツーリズムの動向～」日本にとっても大きなインバウンドビジネスのチャンスです。

## 1 背景事情

石垣市は日本列島の最西南端にあって、11の有人島からなる八重山諸島の拠点都市である。台湾や東南アジア諸国をはじめ、広くアジア・太平洋地域に開かれた位置に所在する国境都市でもある。高峰の於茂登岳（526m）を中央に、八重に重なる雄大な山々とエメラルドグリーンに輝く景勝地・川平湾は国指定名勝に指定されている。温暖な気候の中、美しいサンゴ礁と青い海に囲まれた美しい島は多くの観光客が訪れる観光都市でもある（垣市ホームページより抜粋）。

上記のような観光資源の魅力等により石垣市の入域観光者数は、平成29年度は137万6651人となっており宮古島の入域観光者数約100万人をはるかに凌駕する一大リゾート地域となっている。

但し、宮古島には宮古島東急ホテル&リゾート、ザシギラ、シギラベイサイドスイートアラマンダ、ホテルブリーズベイマリーナ、ホテルアトールエメラルド宮古島等大型ホテルが相当数存在するうえ、このほかに18ホールを擁するゴルフコースとしてオーシャンリンクス宮古島、エメラルドコーストゴルフリンクス、シギラベイクントリークラブの三つが存在する。

この点、石垣島には、ANAインターコンチネンタル石垣リゾート、アートホテル沖縄、フサキビーチリゾート、クラブメッド石垣島の大型ホテルがあるが、石垣宮古両島の入域観光者数を比較した場合、石垣島のホテル数はいまだ十分とはいえない。

また、石垣島のゴルフ場は10ホールのマエサトゴルフコースしかなく、日本国内の富裕層とインバウンド層をターゲットとするには大きなウィークポイントと言わざるを得ない。

## 2 本件プロジェクト

### I 優位性

本件プロジェクトは上記のウィークポイントを鑑み、宮古島にない優位性を持たせることを基本理念として人間ドック・健康診断を兼ね備えたメディカルリゾートを提案する。血液検査、尿検査、胸部及び腹部エックス線、心電図検査、腹部エコー、MRI検査、頭部CT、大腸内視鏡検査等東京都心部の高級人間ドックで行う検査をすべて行い、石垣島の大自然を堪能しつつ健康の維持増進を図るというコンセプトである。

このコンセプトの顧客ボリュームゾーンとして、日本人富裕層はもとより中国、台湾そして韓国等のインバウンドを標榜する。首都圏には我国の医療水準を信用する中国人富裕層の人間ドックツアーが浸透しており、概ねその健康診断に80万円程度の費用を払うケースが多い。そのような現状を考慮して、都心同様の人間ドックを受けられなおかつ移動の簡易性、石垣の観光優位性を兼ね合わせて考えた場合、リゾートとしての優位性を十分に保つことができる。同様の試みは都心からほど近い山中湖でも、リゾートトラストグループが株式会社ハイメディックと提携し、グランドハイメディック倶楽部というリゾート地での検診サポートシステムを展開している。

なお、この施設にはヒアルロン酸、ボトックス注入、シミ取り等のいわゆるプチ整形クリニックを併設する予定である。韓国の整形手術も相変わらず中華系民族に人気であるが、その安全性に疑問を抱く富裕層は日本において施術をうけている。そこで人間ドックとともに美容クリニックを併設することで優位性をさらに高める予定である。

また、北部住民のための簡易な一般診療を可能な限り併設する予定である。

なお、現時点で監修もしくは医療施設事業者としては、医療法人D I C宇都宮セントラルクリニックで大規模な人間ドックを運用する佐藤俊彦医師を予定している（<https://ucc.or.jp/>）。

### II 地域経済の活性化

本件土地所在地伊原間は、石垣市北部に所在する。リゾート展開によってリゾート開発及び運営による経済活性化及び地元民の雇用促進等により石垣市北部農村活性化協議会（<https://ishigaki-hokubu.com>）の抱く将来像にも寄与する。

### III 港湾利用

本件プロジェクトは本件土地所有地関連会社によって伊原間に漁船及び停泊権を有している。そこでダイビングショップをリゾートに併設しマリンスポーツをリゾートのアクティビティとして活用することを考えている。この点で港湾利用及び整備にも可能な限り協力体制を構築する予定である。

### V 事業の拡張性

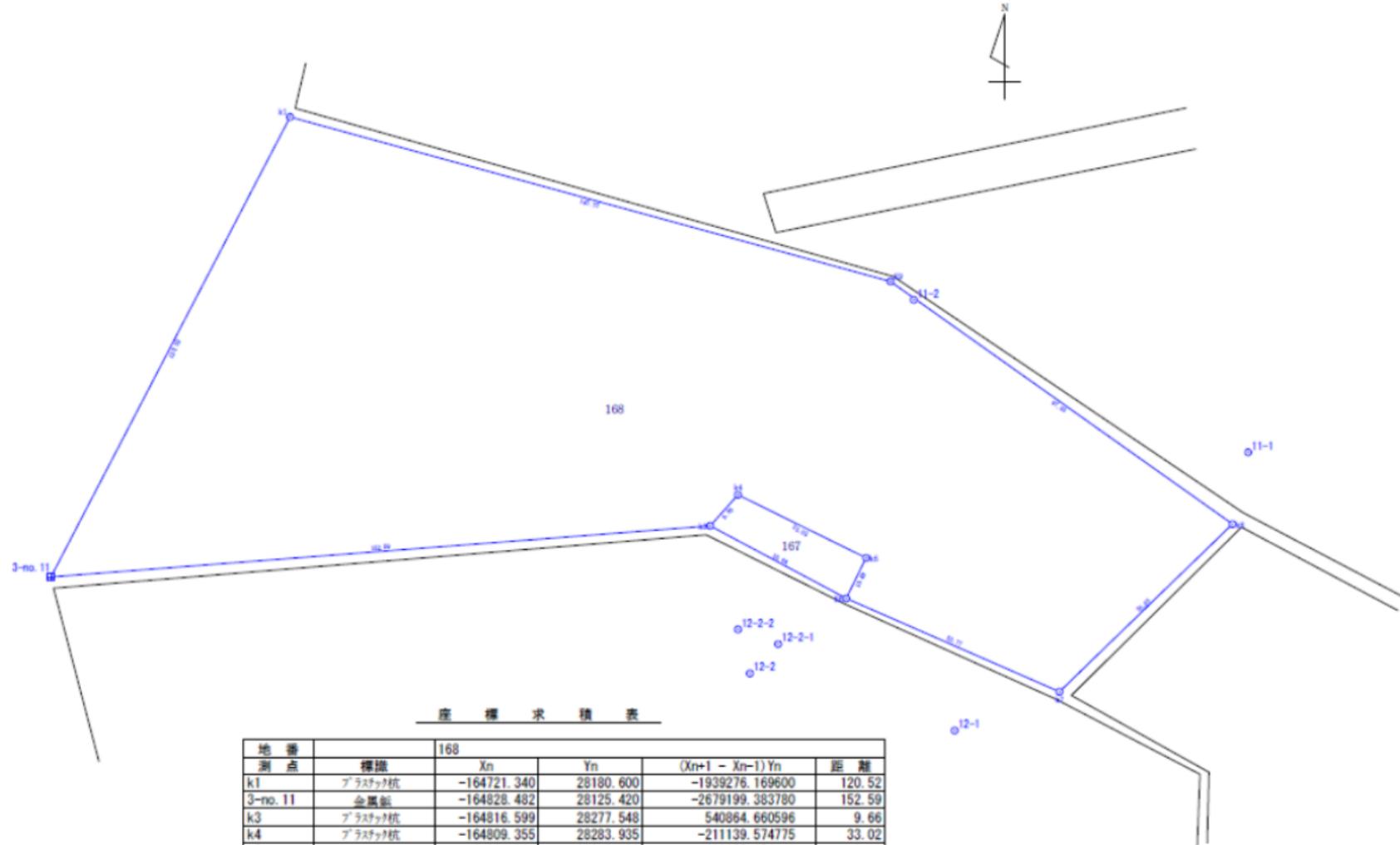
本件所在地南部隣接地には伊原間港まで続く約2万坪の土地が存在し隣地との一体開発が可能である。これが実現した場合は島内でも有数のリゾート地となり得る。



沖縄県石垣島伊原間

# 地積測量図

S=1/1000



座 標 求 積 表

地番		168			
測点	標識	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1) Yn	距離
k1	プラスチック杭	-164721.340	28180.600	-1939276.169600	120.52
3-no. 11	金属釘	-164828.482	28125.420	-2679199.383780	152.59
k3	プラスチック杭	-164816.599	28277.548	540864.660596	9.66
k4	プラスチック杭	-164809.355	28283.935	-211139.574775	33.02
k5	プラスチック杭	-164824.064	28313.496	-683657.674416	10.49
k6	プラスチック杭	-164833.501	28308.925	-882643.972575	53.77
k7	プラスチック杭	-164855.243	28358.107	491077.338919	55.85
k8	プラスチック杭	-164816.184	28398.021	2714197.653117	97.05
k9	コンクリート杭	-164759.666	28319.125	2685899.091500	143.73
			倍面積	36121.968986	
			面積	18060.9844930	
			地積	18060.98	m <sup>2</sup>



A	33室	102~165㎡
B	18室	140~155㎡
C	1室	335㎡
D	3室	235~380㎡
E	1室	370㎡
合計_56室		



■ JUSANDI  
■ 沖縄県・石垣島



■ オリエンタルヒルズ沖縄  
■ 沖縄県・国頭郡恩納村



■ ザ・プセナテラス  
■ 沖縄県・名護市



■ Fusion Maia Danang  
■ ベトナム・ダナン



■ Alaya Dedaun Kuta  
■ インドネシア・バリ島



■ MACA VILLAS & SPA BALI  
■ インドネシア・バリ島